

DiGiCo S

DiGiCo S App 取扱説明書

User Manual Version A for App Version 3.0.0

for S-Series Console Software Versions V1.4+

■目次

1.1	はじめに	3
1.1.1	システム要件	3
1.1.2	重要事項	3
1.1.3	機能	3
1.2	接続とデバイス設定	4
1.2.1	S-SeriesコンソールのiPadコントロール設定	6
1.2.2	S App接続画面	7
1.3	操作	8
1.3.1	オーバービューバー	8
1.3.2	チャンネル選択	9
1.3.3	モード	9
1.3.4	セッション情報	9
1.3.5	ユニバーサル・ロータリー・コントローラー	9
1.4	CHANNEL SETUP(チャンネル・セットアップ)	10
1.5	MIX(ミックス)	10
1.6	FILTER/EQ(フィルター／EQ)	11
1.7	DYNAMICS(ダイナミクス)	11
1.8	Aux Sends(AUXセンド)	12
1.9	BUSS ROUTING(バス・ルーティング)	13
1.10	SNAPSHOT(スナップショット)	13
1.11	MATRIX(マトリクス)	14
1.12	GRAPHIC EQ(グラフィックEQ)	14
1.13	トラブルシューティング	15

1.1 はじめに

DiGiCo S App は、DiGiCo S-Series コンソールを Apple iPad または iPad Mini でワイヤレス・コントロールできるようにするアプリです。

1.1.1 システム要件

iPad 2 以降

iOS 7 以降 (iOS 8.x 以降を推奨)

コンソールのイーサネット・ポートに接続されたワイヤレス・アクセス・ポイント (通信速度 150 Mbps 以上)

S-Series コンソール・ソフトウェア V1.4 とコンソールの関連 iPad コントロール・オプションが有効になっていること。

※ S App V3.0.0 と S-Series コンソール・ソフトウェア・バージョン V1.4 の場合、コンソールに同時に接続できる iPad は 1 台のみです。

1.1.2 重要事項

以下の事項を最初にお読みください。

- 1) S App を使用する際は iPad Mobile Data を OFF にし、Wi-Fi を ON にしてください。
- 2) 複数の異なるワイヤレス・ネットワークが利用可能な環境でコンソールと iPad を使用する場合、iPad があるワイヤレス・ネットワークから別のワイヤレス・ネットワークに自動的に切り替わり、コンソールを操作できなくなる可能性があります。この場合、S App をいったん閉じてからコンソールに再接続してください。
- 3) 複数の異なるワイヤレス・ネットワークが存在し、WIFI チャンネルを共有している場合、干渉が発生して iPad とコンソール間の通信速度が低下したり、データが失われたりする可能性が高くなります。その場合、コンソールまたは iPad の応答速度が通常より遅く感じられることがあります。

1.1.3 機能

以下のコンソール機能を表示／操作することが可能です。

チャンネル・セットアップ：+48 V、ポラリティ (極性)、ゲイン (アナログ)、トリム (デジタル)、チャンネル・ディレイ、インサート・ポイント ON/OFF、メーター

ミックス：チャンネル・ラベル、メイン／ALT 入力、パン、ミュート、ソロ、フェーダー・レベル、チャンネル・プリセット、メーター
フィルター／EQ：4 バンド (または 8 バンド) EQ、HPF/LPF、ダイナミック EQ パラメーター、プリセット

ダイナミクス：全てのダイナミクス・モードパラメーター (全てのダイナミクス・モード)、プリセット

AUX：AUX センド・レベル、ON/OFF、AUX パン

バス・ルーティング：バスへの入力またはグループ・チャンネルのアサイン

マクロ：コンソール上の専用 OSC マクロに割り当てられた作成済みマクロ機能へのアクセス

スナップショット：Insert New (新規挿入)、Recall (呼び出し)、Undo (取り消し)、Update (更新)、Rename (名前変更)、Delete (削除)、Notes display (情報表示)

マトリクス：センド、ON/OFF、マトリクス入カラベル、プリセット

グラフィック EQ：各ユニットの 32 本のフェーダーおよび ON/OFF、全バンドのリセット、プリセット

セッションの保存

1.2 接続とデバイス設定

S-Series コンソールを DiGiCo S App に接続する前に、以下の設定を正しく行う必要があります。

まず、コンソールとワイヤレス・アクセス・ポイントをイーサネット・ケーブルで接続してください。

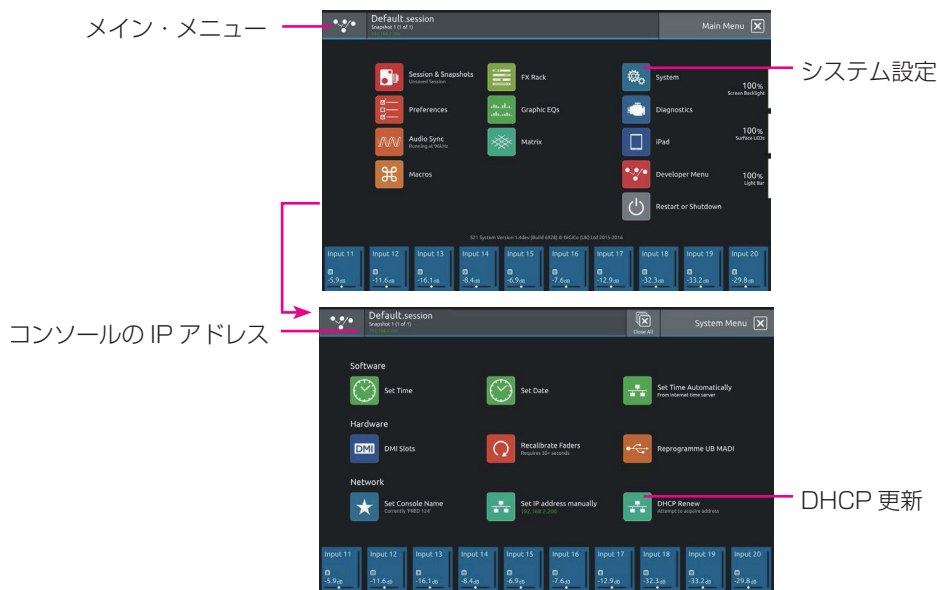
DHCP を使用する場合（推奨）：

1) コンソールと iPad に IP アドレスが自動的に割り当てられるように、ワイヤレス・アクセス・ポイントの DHCP サーバーを有効にします（詳細はご使用になるワイヤレス・アクセス・ポイントの取扱説明書を参照してください）。

2) DHCP サーバーから IP アドレスを受け取るようにコンソールを設定します。

コンソール画面上の**メイン・メニュー・ボタン**にタッチし、「**System**」ボタンにタッチします。

「**DHCP Renew**」ボタンにタッチします。しばらくするとトッパー（セッション名の下）に**有効な IP アドレス**が緑色で表示されます。



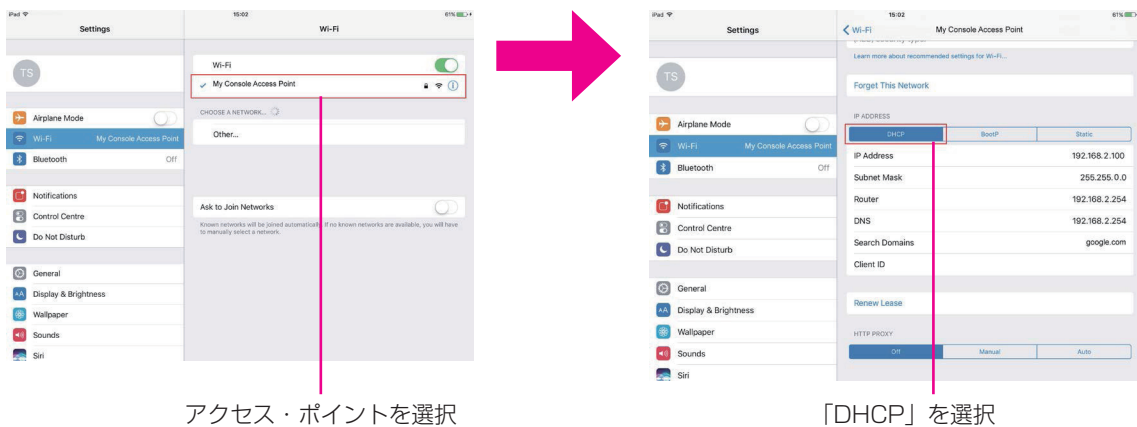
3) DHCP サーバーから IP アドレスを受け取るように iPad を設定します。

iPad の「設定」>「Wi-Fi」画面を開き、使用するワイヤレス・アクセス・ポイントにタッチして選択します（下の図を参照）。

Wi-Fi 設定画面を開き、「DHCP」を選択します。

「DNS」フィールドが空白になっている場合、「8.8.8.8」と入力します。

「検索ドメイン」に「google.com」と入力します。



スタティック IP アドレスを設定する場合：

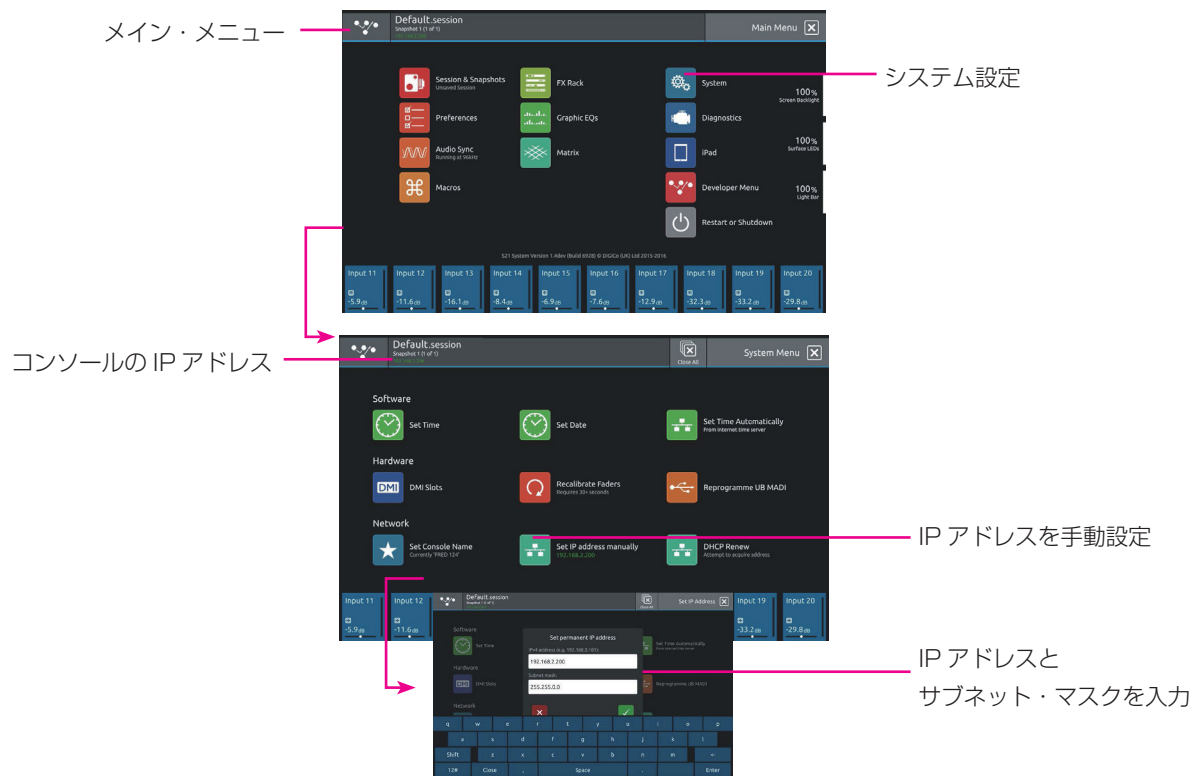
1) ワイヤレス・アクセス・ポイントにコンソールと同じサブネットのスタティック IP アドレスを設定します（例：IP アドレス「192.168.2.199」、サブネット・マスク「255.255.0.0」）。詳細はご使用になるワイヤレス・アクセス・ポイントの取扱説明書を参照してください。

2) コンソールにワイヤレス・アクセス・ポイントと同じサブネットのスタティック IP アドレスを設定します（例：IP アドレス「192.168.2.200」、サブネット・マスク「255.255.0.0」）。

コンソール画面の**メイン・メニュー**・ボタンにタッチし、「**System**」ボタンにタッチします。

「**Set IP address manually**」ボタンにタッチし、IP アドレスとサブネット・マスクをキーボードで入力します。

しばらくするとトップバー（セッション名の下）に**有効な IP アドレス**が緑色で表示されます。



3) iPad にワイヤレス・アクセス・ポイントおよびコンソールと同じサブネットのスタティック IP アドレスを設定します（例：IP アドレス「192.168.2.201」、サブネット・マスク「255.255.0.0」）。

iPad の「**設定**」>「**Wi-Fi**」画面を開き、使用するワイヤレス・アクセス・ポイントにタッチして選択します（下の図を参照）。

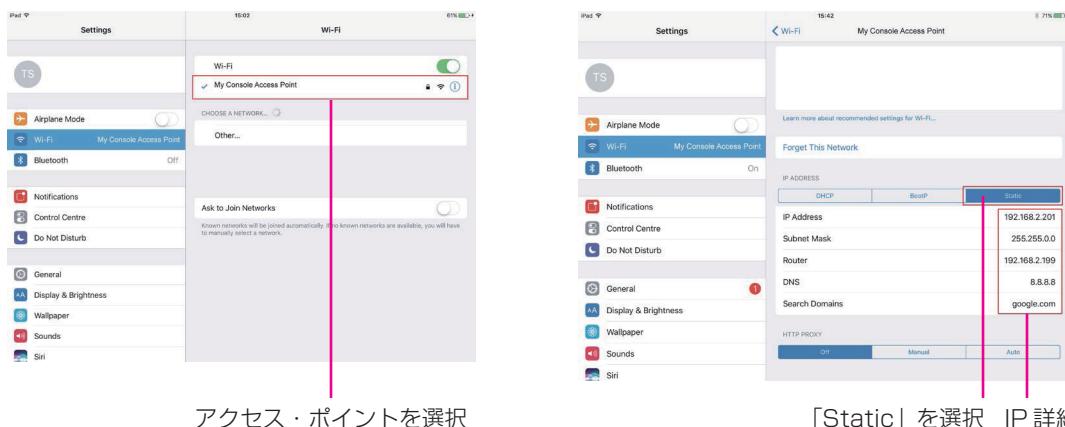
Wi-Fi 設定画面を開き、「**Static**」を選択します。

iPad の IP アドレスとサブネット・マスクを入力します（例：IP アドレス「192.168.2.201」、サブネット・マスク「255.255.0.0」）。

「**ルーター**」にワイヤレス・アクセス・ポイントの IP アドレスを入力します（例：192.168.2.199）。

「**DNS**」に「8.8.8.8」と入力します。

「**検索ドメイン**」に「google.com」と入力します。



1.2.1 S-Series コンソールの iPad コントロール設定

ワイヤレス・アクセス・ポイント、iPad、およびコンソールのネットワーク設定が完了したら、以下の手順に従ってコンソールの iPad プラグインの設定を行ってください。

S-Series コンソールの「Main Menu」>「iPad Configuration」パネルを開きます。

- 1) パネルの一番上にあるボタンを押して iPad によるコントロールを有効にします（この機能は不要時には無効にしてください）。
- 2) iPad の IP アドレスを入力します。
- 3) コンソールの送信ポート番号を「Send」、受信ポート番号を「Rcv」に入力します（例：Send = 9000、Rcv = 8000）。

S App V3.0.0 と S-Series コンソール V1.4 の場合、コンソールに同時に接続できる iPad は 1 台のみです。

4) パネルの一番下に表示されているコンソールのローカル IP アドレスを書き留めます。この情報は S App の接続画面で入力する必要があります。

メイン・メニュー

iPad 設定

iPad によるコントロールを有効化

iPad の IP アドレスを入力

コンソールの受信ポートを入力

コンソールの送信ポートを入力

Default.session Snapshot 1 (1 of 1) Main Menu

Session & Snapshots (Unsaved Session) FX Rack System 100% Screen Backlight

Preferences Graphic EQs Diagnostics

Audio Sync (Running at 96kHz) Matrix iPad 100% Screen Backlight

Macros Developer Menu 100% Light Bar

Restart or Shutdown

S21 System Version 1.4dev (Build 6128) © DiGiCo (UK) Ltd 2015-2016

Input 11 Input 12 Input 13 Input 14 Input 15 Input 16 Input 17 Input 18 Input 19 Input 20

-5.9dB -11.6dB -16.1dB -8.4dB -6.9dB -7.6dB -12.9dB -32.3dB -33.2dB -29.8dB

Default.session Snapshot 1 (1 of 1) iPad Configuration

Close All

✓ iPad Connection Enabled (Console Name: PRC21.0)

IPad IP Address: 192.168.2.201 (Console IP Address: 192.168.2.200)

Receive Port: 8000 (From iPad to Console)

Send Port: 9000 (To Console from iPad)

Press and hold on either port value to reset to default.

Input 11 Input 12 Input 13 Input 14 Input 15 Input 16 Input 17 Input 18 Input 19 Input 20

-5.9dB -11.6dB -16.1dB -8.4dB -6.9dB -7.6dB -12.9dB -32.3dB -33.2dB -29.8dB

Default.session Snapshot 1 (1 of 1) Set iPad IP Address

IPad Connection Enabled (Console Name: PRC21.0)

Enter iPad IP address

IPad address (e.g. 192.168.2.200)

192.168.2.100

Close Enter

Default.session Snapshot 1 (1 of 1) Set Send Port

IPad Connection Enabled (Console Name: PRC21.0)

Set Send Port

In the range 0-1023

8000

Close Enter

Default.session Snapshot 1 (1 of 1) Set Receive Port

IPad Connection Enabled (Console Name: PRC21.0)

Set Receive Port

In the range 0-1023

8000

Close Enter

1.2.2 S App 接続画面

S App を起動すると、下図接続画面が表示されます。

S App をデモ・モードで実行したい場合、「OFFLINE DEMO」を押します。一般的な S-Series コンソール構成がロードされます。

コンソールのモデルを示すボタン（下の図の赤枠で囲まれた部分）は最初の段階では表示されていませんが、有効な詳細が入力され、ネットワーク上でコンソールが検出されると自動的に表示されます。ボタンにはコンソールのモデルと名称が表示されます。

- 1) コンソールの「iPad Configuration」パネルから書き留めた S-Series コンソールの IP アドレスを入力します。
- 2) iPad の送信ポート番号と受信ポート番号を入力します。
- 3) ボタンにコンソールのモデルと名前が表示されます。

※ 送信ポート番号と受信ポート番号は、コンソールで入力した番号に対応している必要があります。したがって、コンソールの送信ポートが 9000 の場合、iPad の受信ポートは 9000 でなければなりません。

同様に、コンソールの受信ポートが 8000 の場合、iPad の送信ポートは 8000 でなければなりません。

- 4) コンソールのモデル番号が表示されたボタンを押してコンソールに接続します。



有効な接続が確立されると、接続リストに項目が自動作成されます。「CONNECTIONS」ボタンにタッチし、リストからその接続を選択することにより、後で呼び出すことが可能です。

追加の新規接続を作成するには画面右の「+」ボタンにタッチします。



1.3 操作

1.3.1 オーバービューバー

S App がロードされると、各種コンソールのバンクを表す水平バーが画面の一番上に表示されます。

これには現在のコンソール上のセッションのレイアウトおよびバンク位置が反映されます。

コンソール・バンクを検索するには**オーバービューバー**を右から左にスワイプします。バンクにタッチするとそのバンクが選択されます。

選択したバンクは境界が黄色で表示され、そのバンクに含まれるチャンネルがオーバービューバーの下のメイン画面エリアに表示されます。

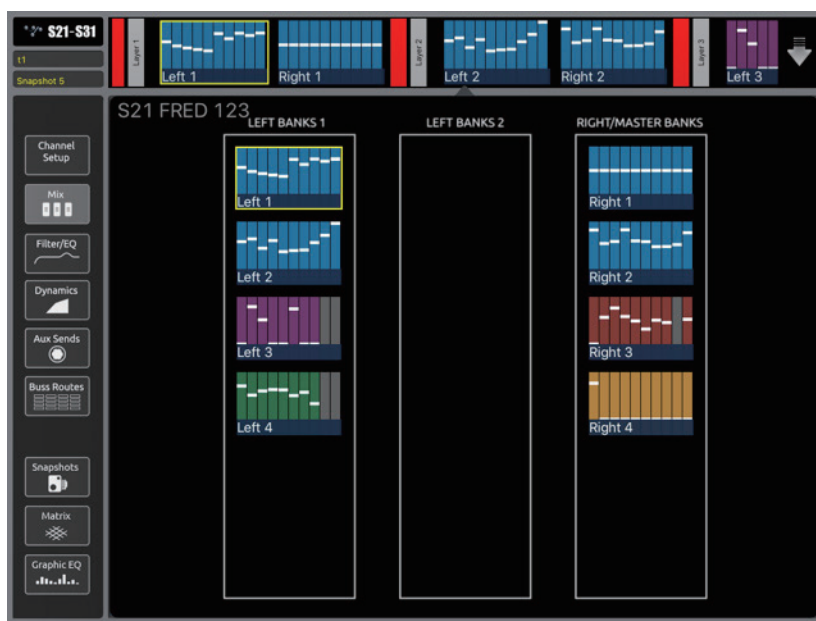
チャンネル・タイプは S-Series コンソール上と同様に色分けされます。



オーバービューバーの右端にある下向きの矢印にタッチするとビューが開き、全てのコンソール・バンクが表示されます。

このビューでバンクにタッチして選択することも可能です。選択すると自動的にビューが閉じます。

選択を変更せずにビューを閉じるにはビューの背景部分にタッチします。



1.3.2 チャンネル選択

チャンネルを選択するにはチャンネル名をタップします。選択されたチャンネルの名前はライトグレーでハイライト表示されます。

バンクごとに最後に選択されたチャンネルが記憶されており、そのバンクに戻ると復元されます。

S App を終了すると、選択は全て各バンクの先頭チャンネルにリセットされます。

1.3.3 モード

画面左端には 9 個のモード選択ボタンがあります。

モードを選択すると、そのボタンが黄色でハイライト表示されます。

- ※ 一部のモードは、表示されるコントロールがチャンネル・タイプによって異なります。例えば、ミックス・モードでは、チャンネル・パンは入力チャンネルにのみ表示されます。CG チャンネルの場合、チャンネル・セットアップ、EQ、ダイナミクス、AUX、またはバス・ルーティング・モードではコントロールは表示されません。

9 種類のモードについては、次のページ以降でそれぞれ説明します。

1.3.4 セッション情報

画面左上隅には、現在ロードされているセッションと現在のスナップショットに関する情報が表示されます。セッション名をタップするとダイアログ・ボックスが開き、コンソール上のセッションを保存することができます（確認が必要です）。

- ※ iPad からセッションを保存した場合、現在のコンソール・セッションは直ちに上書きされます。これはコンソールの「Save Session」コマンドと同じです。



1.3.5 ユニバーサル・ロータリー・コントローラー

ゲインやトリムなどのオンスクリーン・ロータリー・コントロールをタップすると、画面左端のモード・ボタン・エリアがユニバーサル・ロータリー・コントローラーに一時的に切り替わり、調整に使用することができます。しばらくの間コントローラーを使用しないと自動的にモード・ボタンに戻ります。あるいは、メイン・チャンネル画面の空きスペースにタッチして手動で戻すことも可能です。

コントローラーの表示中にオンスクリーン・ロータリー・コントロールを選択すると、コントローラーの機能がそのロータリー・コントロールに切り替わります。選択中のロータリー・コントロールは黄色でハイライト表示され、コントローラー・ストリップ内のフェーダーの上にそのロータリー・コントロールの詳細と値が表示されます。

値表示ボックスをタップするとオンスクリーン・キーボードが開き、数値入力ができます。

オンスクリーン・キーボードの表示中、単位表示（dB、ms など）をタップすると単位タイプが切り替わります。



1.4 CHANNEL SETUP (チャンネル・セットアップ)



「CHANNEL SETUP」画面には +48V、ポリティイ (極性)、ゲイン (アナログ)、トリム (デジタル)、チャンネル・ディレイ、インサート・ポイント ON/OFF、およびメーターが表示されます。

コントロールはチャンネル・タイプに基づいて表示されるため、この画面のチャンネル・ストリップには同じコントロールが全て表示されるとは限りません。

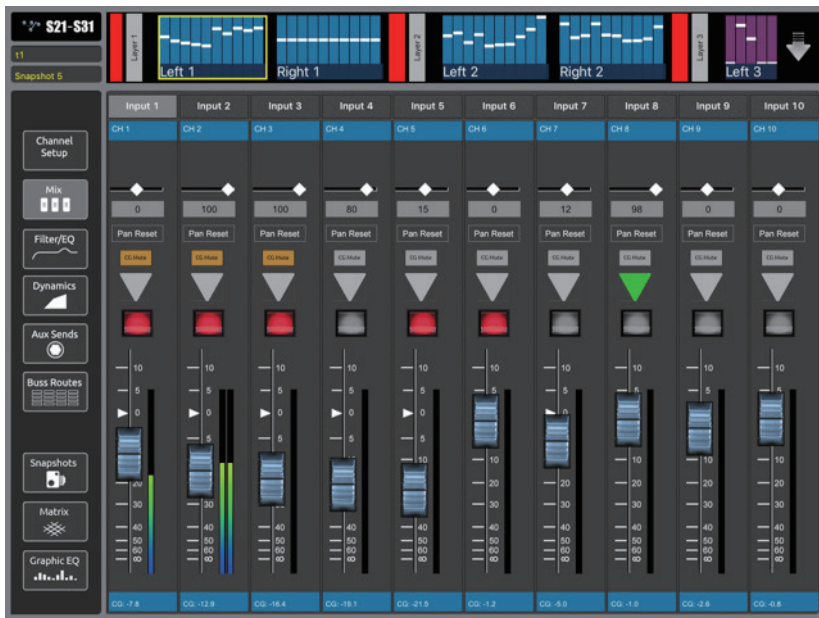
チャンネル・ラベルを編集するには、チャンネル・ラベルをタップしてチャンネルを選択し (選択したチャンネルがライトグレーでハイライト表示されます)、ラベルをもう一度タップします。

インサート・ポイント On/Off スイッチは、対応するコンソール・チャンネルに有効なインサート・リターンがルーティングされていない限り機能しません。ステレオ、LCR、LCRS、および 5.1 チャンネルの場合、2 つのメーター (L/R) が表示されます。

ステレオ・チャンネルの場合、2 つのメーター (L/R) が表示されます。

全てのロータリー・コントロールの調整は、コントロールをタップすると画面左端に表示されるユニバーサル・ロータリー・コントローラーを使用を行います。

1.5 MIX (ミックス)



「MIX」画面にはパン、ミュート、ソロ、フェーダー・レベル、およびメーターが表示されます。

コントロールはチャンネル・タイプに基づいて表示されるため、この画面のチャンネル・ストリップには同じコントロールが全て表示されるとは限りません。

チャンネル・ラベルを編集するには、チャンネル・ラベルをタップしてチャンネルを選択し (選択したチャンネルがライトグレーでハイライト表示されます)、ラベルをもう一度タップします。

各フェーダーの一番下にはそのチャンネルの CG (コントロールグループ) とフェーダー・レベルが表示されます。

「CG MUTE」インジケータは、各チャンネルのコンソール上の CG ミュートの状態を表示します。

ステレオチャンネルの場合、2 つのメーター (L/R) が表示されます。

「PAN RESET」ボタンを押すごとに、パン・コントロールの開始位置に基づいてパン位置が R 側振り切り / L 側振り切り / センターの順に切り替わります。

1.6 FILTER/EQ (フィルター/EQ)



「FILTER/EQ」画面には4バンドEQ、HPF/LPF、EQ ON/OFF、カーブ設定が表示されます。

チャンネル・ラベルをタップするとチャンネルが選択され、ライトグレーでハイライト表示されます。もう一度タップするとチャンネル・ラベルを編集できます。

選択中のバンドはカラー・リングが点滅します。

色分けされた三角はHPF/LPFの周波数設定を表し、色分けされたボールはEQのバンドをそれぞれ表します。ボールをタップして選択すると、色分けされた輪郭線がハイライト表示され、そのバンドの詳細がチャンネル・ラベル左下の情報ボックスに表示されます。

ボールをドラッグするとそのバンドのゲインおよび周波数設定が変化し、左右にピンチジェスチャーすると選択中のバンドのQ設定が変化します。

バンド情報ボックスの横に南京錠マークの付いた2つのボタンがあります。これらのボタンをONにすると、各EQバンドのゲイン([G]ボタン)またはフィルター周波数([F]ボタン)の設定がロックされ、iPad画面で調整できないようになります。

また、EQグラフの上には4バンドEQのシェイプおよびタイプを設定するボタンのほか、HPF/LPFのON/OFFボタンがあります。「FLAT」ボタンを押すと全てのEQバンドのゲインが0 dBに設定されます。

接続先のコンソールの機能に応じて、EQグラフの上にある「BELL/SHELF」ボタンを使用して、選択中のバンドのカーブ設定を変更できます。

1.7 DYNAMICS (ダイナミクス)



「DYNAMICS」画面には、コンソールの全てのダイナミクス・モードの全てのダイナミクス・パラメータが表示されます。

チャンネル・ラベルをタップするとチャンネルが選択され、ライトグレーでハイライト表示されます。もう一度タップするとチャンネル・ラベルを編集できます。

この画面には、コンソール上で選択中のチャンネルに対して選択されているダイナミクス・モードが反映されます。**S Appからモードを変更することはできません。**

全てのロータリー・コントロールの調整は、コントロールをタップすると画面左端に表示されるユニバーサル・ロータリー・コントローラーを使用して行います。

1.8 Aux Sends (AUX センド)



「AUX」画面にはAUX SEND・レベル、ON/OFF、およびAUX PANが表示されます。

この画面は「**Aux to Faders**」モードのS-Seriesコンソールに相当し、各フェーダーは選択中のAUXのAUX SEND・コントロール、ON/OFFボタンは**AUX SEND ON/OFF**スイッチです。

AUXを選択するには、画面上部にある紫色の**AUX 選択**ボタンをタップします。

ステレオAUXの場合、パン・コントロールはAUX SEND・パンとして機能します。

「**PAN RESET**」ボタンは、チャンネル・パンと同様に、ボタンを押すごとにパン・コントロールの開始位置に基づいてパン位置がR側振り切り/L側振り切り/センターの順に切り替わります。

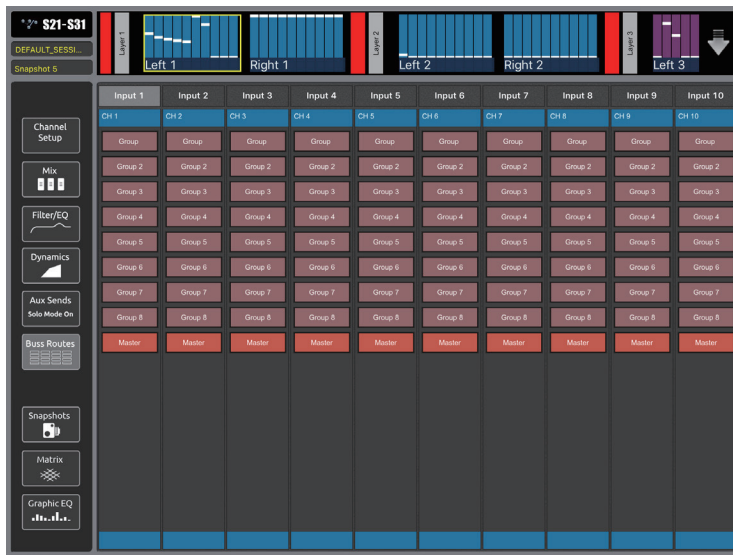
「Aux Sends」画面を開いた状態で「Aux Sends」ボタンをもう一度押すと**ソロ・モードがON**になり、AUX選択エリアの背景が緑色に変わります。このモードではAUXを選択すると、コンソール上のそのAUXマスター・チャンネルもソロに設定されます。

「Aux Sends」ボタンをもう一度タップするとソロ・モードがOFFになります。



※この画面に表示されるチャンネル・ラベルを選択または編集することはできません。

1.9 BUSS ROUTING (バス・ルーティング)



「BUSS ROUTING」画面では、入力またはグループ・チャンネルをバスにアサインできます。

コンソール上の全ての既存グループ・バスに対応するボタンが表示され、縦にスワイプするとスクロールできます。

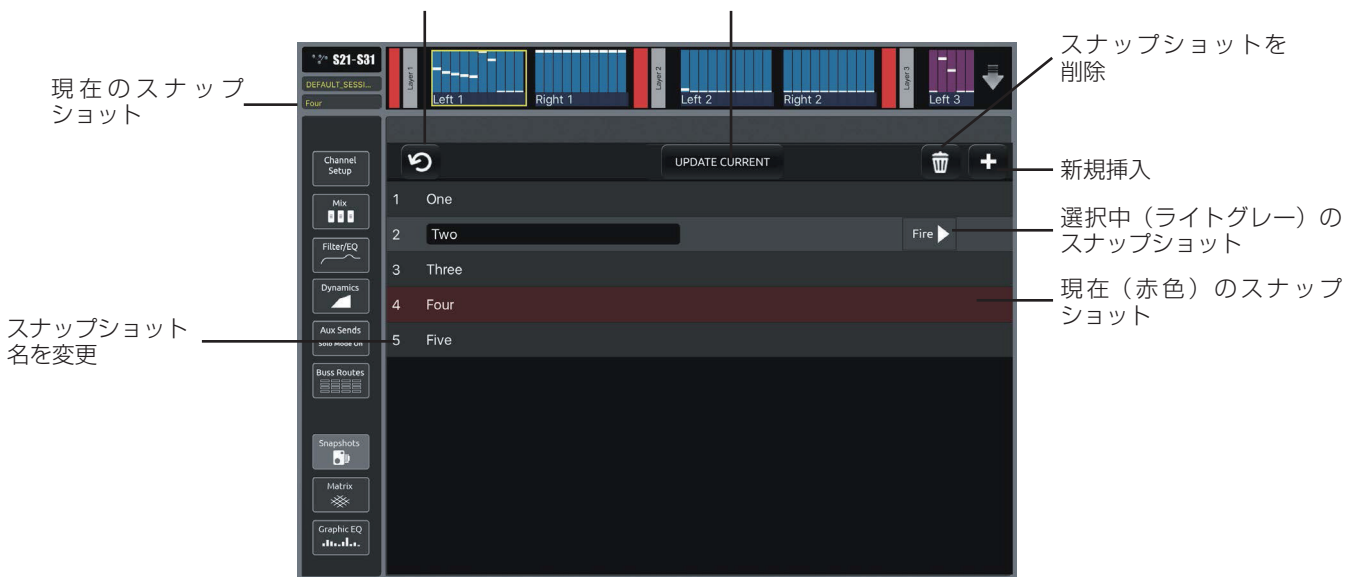
この画面では、通常の方法でチャンネルの選択やチャンネル・ラベルの編集を行うこともできます。

※ この画面にバス・ルーティング・ボタンが表示されるのは入力チャンネルとグループ・チャンネルのみです。

1.10 SNAPSHOT (スナップショット)

スナップショット呼び出しを取り消し

選択中のスナップショットを更新



「SNAPSHOT」画面ではスナップショットのInsert New(新規挿入)、Recall(呼び出し)、Undo(取り消し)、Update(更新)、Rename(名前変更)、Delete(削除)操作を行えます。

スナップショット・リストは、S-Series コンソール上と同様に表示されますが、**現在のスナップショットは赤色**、**選択中のスナップショットはライトグレー**でハイライト表示されます。

リストは、縦にスワイプするとスクロールできます。

スナップショットを呼び出すには、リスト内の行をタッチして選択し、「FIRE」ボタンをタップします。スナップショットが呼び出されたことを知らせるメッセージが表示されます。

スナップショット・リストの左上にある丸い矢印ボタンをタップすると、スナップショット呼び出しを**取り消す**ことができます。

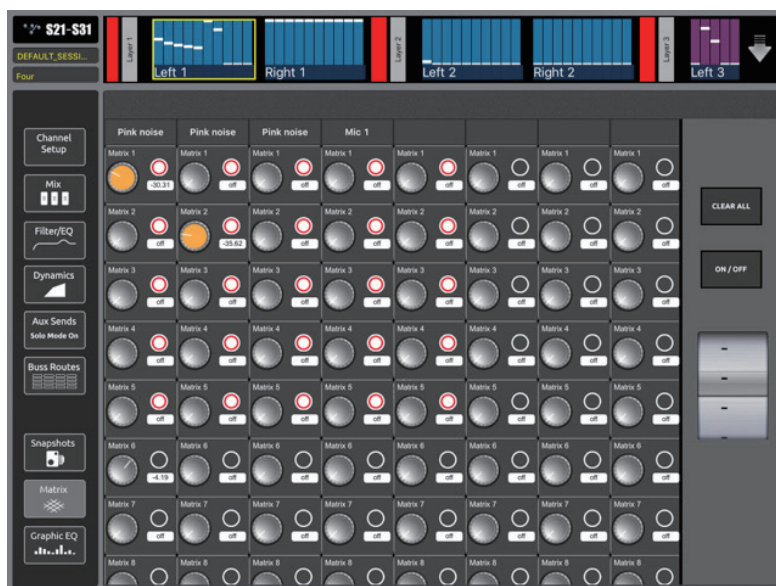
新規スナップショットを挿入するには、リストで挿入位置を選択し、「+」ボタンをタップします。

スナップショット名を変更するには、スナップショット名ボックスをタップしてオンスクリーン・キーボードを表示します。

リストの上にある「UPDATE SELECTED」ボタンをタップすると、**選択中 (赤でハイライト)**のスナップショットが現在のコンソール設定で更新されます。

スナップショットを削除するには、まずリスト内の行をタッチして選択し、削除 (ゴミ箱) ボタンをタップします。確認ダイアログ・ボックスが開き、削除操作を**確定**または**キャンセル**できます。

1.11 MATRIX (マトリクス)



「MATRIX」画面にはマトリクス・センド、ON/OFF、およびマトリクス入力ラベルが表示されます。

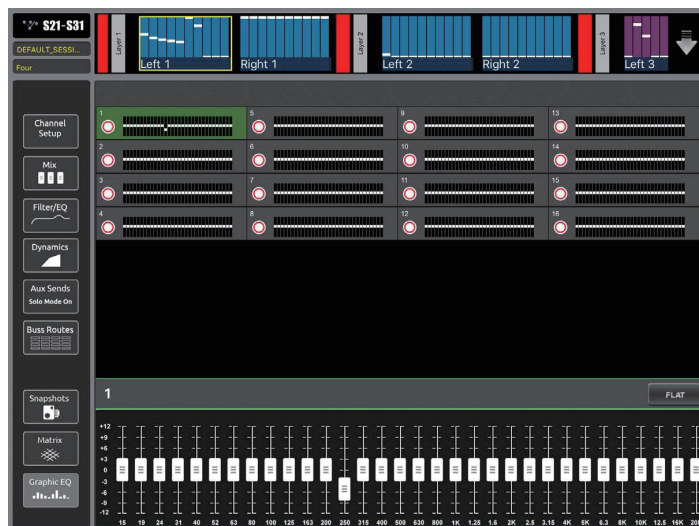
マトリクスが画面に収まりきらない場合、横または縦にスワイプすると残りのマトリクス・ノードが表示されます。

マトリクス・センド・レベルおよび ON/OFF スイッチは、S-Series コンソール上と同様に調整できます。

まずロータリー・コントロールの上をタップして、調整したいノードを選択します。選択中のノードは、ロータリー・コントロールのキャップが黄色に変わります。次に、画面右端のデータ入力ホイールとラジボタンを使用して設定を調整します。

調整が完了したら、「CLEAR ALL」ボタンをタップして全てのノードを選択解除します。

1.12 GRAPHIC EQ (グラフィック EQ)



「GRAPHIC EQ」画面には各ユニットの 32 本のフェーダーおよび ON/OFF ボタンに加え、選択中のユニットの全バンド・リセット・ボタンが表示されます。

この画面も S-Series コンソール上と同様に機能します。

縮小表示されたユニットをタップすると画面下部に拡大表示されます。選択中のユニットは緑色でハイライト表示されます。

拡大表示ユニットの 32 本のフェーダーを使用して各 EQ バンドを調整します。

縮小表示ユニットのボタンをタップするとユニットの ON/OFF が切り替わります。

拡大表示ユニットの「FLAT」ボタンをタップすると、そのユニットのフェーダーが全て 0 dB にリセットされます。

1.13 トラブルシューティング

- 1) S App で行った変更でコンソールが突然反応しなくなった：
 - a) iPad が正しいワイヤレス・ネットワークに接続されているか確認します。
 - b) S App を開き直し、コンソールに接続し直します。
iPad のホーム・ボタンを押し、S App を再起動し、コンソール・モデル名が表示された接続ボタンを押します。
- 2) S App 画面が正しく表示されなくなった：バンクまたはモードを交互に切り替えることで画面をリフレッシュしてください。
- 3) S App の接続画面にコンソール情報を入力してもコンソール接続ボタンが表示されない：以下の項目をチェックしてください。
 - a) iPad がワイヤレス・アクセス・ポイントに正しく接続されているか (iPad のネットワーク検出状態を確認してください)
 - b) コンソールの IP アドレスとポート番号が iPad に正しく入力されているか
 - c) iPad のコンソールの IP アドレスとポート番号がコンソールに正しく入力されているか
 - d) iPad とコンソールの送信／受信ポート番号が正しく対応しているか (例：コンソールがポート 9000 で送信し、iPad がポート 9000 で受信)
 - e) コンソールの「Main Menu」>「System」>「iPad」パネルの「iPad Connection Enabled」ボタンが ON (緑色のチェックマーク) に設定されているか。
- 4) S App がまったく反応しなくなり、S App を開き直しても問題が解決しない：
 - a) iPad のホーム・ボタンを押し、S App を閉じます。
 - b) iPad のホーム・ボタンを 2 回押し、実行中のアプリを全て表示し、S App ウィンドウを上からスワイプして S App を終了します。
 - c) iPad のホーム・ボタンを押し、標準動作モードに戻ります。
 - d) S App を通常の方法で起動します。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>

●写真やイラストは、実際と異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。